

進路ニュース

平成27年10月5日
鳥取県立白兔養護学校
進路担当

平成27年度 第3号

2学期がスタートしてから1ヶ月が経ちました。9月には、高等部3年生と中学部3年生は産業現場等における実習、小学部6年生と中学部3年生は体験入学がありました。今回の進路ニュースは、夏休み中の教職員研修（わくわく職場見学）と児童生徒の中学部、高等部への体験入学の様子についてお伝えします。

教職員研修

東部地区企業・福祉サービス事業所へ見学に行ってきました！

8月4日（火）小中高の教職員約60名が、2つのコースに分かれて職場見学に出かけました。各企業、福祉サービス事業所の責任者の方から、詳しい説明を聞いたり、作業の様子を見たりする中で、様々な現状や課題を知ることができました。そこで得た情報をもとに、今後の授業づくりや就労支援につなげていきたいと思います。



社会から求められる力とは

- ・ 基本的な生活習慣の確立
- ・ あいさつ、返事、報告
- ・ 仕事に対する意欲の向上
- ・ 基礎的な学力の定着
- ・ 社会的なルール、マナーの理解等

例えば



～施設職員の話による具体的な良い行動～

- ・ 掃除や片付けだけでなく、普段からゴミが落ちていたら拾っている。
- ・ 掲示物がはがれていたら貼っている。
- ・ 挨拶の声が大きく、職員の手本になっている。

見学させていただいた中から、平成26年に設立された企業、福祉サービス事業所を紹介します。

愛ファクトリー（企業）

鳥取市青谷町奥崎388

平成26年1月20日設立された東京のIT企業の特例子会社です。地域の障がい者（定員20名）を雇用し、葉物野菜等を生産加工されていました。現在13名の方が自力通勤されています。「企業で働く上で何が一番大切ですか？」と聞いた時に、「働く意欲です。」と即答されたことが印象的でした。



特例子会社とは、障がい者雇用率の算定において親会社の一事業所と見なされる子会社のことです。

はまむら作業所

鳥取市気高町勝見11

就労移行支援事業所として平成26年4月1日にスタートし、（定員20名）現在、常時十数名の方が利用されています。2年間という期限付きで、職業訓練や求職活動に関する支援等を行っているそうです。野菜の栽培や販売、施設外就労等、個に応じた対応をされていました。

地域とのつながりを大切にしながら支援されていました。



小学部6年生、中学部3年生の体験入学を終えました

7月には単一障がい学級、9月には重複障がい学級の児童生徒が、校外から希望された児童生徒と一緒に、それぞれ中学部、高等部へ1日体験入学をしました。

小学部から中学部への体験入学



～小学部6年生児童の感想紹介～

- ・作業でポプリをふくろにつめました。楽しかったです。かみどめのピンを作ってみたいです。
- ・体育でサッカーをしたことが一番楽しかったです。

～保護者の感想紹介～

- ・小学部とちがって、いい意味での「きびしさ」があり、本人にとってもいい一日だったと思います。中学部に入学するまで、あと半年、親としてできることは何かを考えさせられました。

中学から高等部への体験入学

～中学部3年生生徒の感想紹介～



- ・職業の学習が少し難しいなと思いました。
- ・生単や音楽のダンスが楽しかったです。早く高校生になりたいです。

本校では、自分の進路に関心を持ち、目標を実現するにはどうしたらいいかを考える学習を行っています。中には他校への進学等を目ざす生徒もいます。そのような生徒は、学校見学等に参加して自分に合った進路を選んでいきます。自分が次のステージに何をしたいのか、どんな自分になりたいか、目的を持って進路選択ができるよう、周りの人が適切な支援していくことが大切だと考えています。

< 中学部3年担任 石井 洋介 >

今回の体験入学を通して、児童生徒は来年入学する学部の生活や学習に見通しを持ったり自分たちの新たな課題に気づいたり、貴重な体験をすることができました。御家庭でも、将来の進路選択について親子で話し合っていただく機会にしていただけたらと思っています。

< 文責：朝倉真千子 >